

平成29年度愛媛県県立高等学校入学者選抜の結果概要について

I 平成29年度愛媛県県立高等学校入学者選抜の実施状況

1 期日

- (1) 推薦（面接・作文等） 平成29年2月9日（木）
 (2) 一般（学力検査等） 平成29年3月8日（水）・9日（木）
 (3) 定時制2次（学力検査等） 平成29年4月3日（月）

2 志願者・合格者数等

区 分	全 日 制	定 時 制		
		1次募集	2次募集	合 計
志願者数	8,790 名	90 名	57 名	147 名
受検者数	8,758	89	54	143
合格者数	8,388 (1,574)	66	35	101

注1 全日制の（ ）内の数値は推薦で内数である。

2 定時制の合計は延人数である。

II 学力検査の成績概況

全受検者の平均点（全日制の課程）

年月	教科						
	対象	国語	社会	数学	理科	英語	5教科計
29年3月	7,183人	25.8	26.6	28.6	26.7	26.3	134.0
28年3月	7,600	28.1	28.2	25.5	25.8	26.0	133.6
27年3月	7,741	31.0	26.8	26.9	23.6	27.1	135.4
26年3月	7,922	28.3	26.8	22.3	25.7	22.9	126.0
25年3月	8,224	30.4	25.7	27.6	28.7	28.1	140.5
24年3月	8,100	31.2	28.3	24.6	22.9	26.2	133.2
23年3月	8,071	26.7	27.4	24.9	23.7	29.5	132.2
22年3月	8,776	28.1	28.5	27.0	28.4	29.9	141.9
21年3月	8,624	28.0	31.5	28.0	25.9	29.7	143.1
20年3月	8,915	31.8	27.3	22.4	31.0	28.4	140.9

注 各教科50点満点

愛媛県県立高等学校入学者選抜

学力検査結果概要

平成 29 年度

愛媛県教育委員会事務局指導部高校教育課

目 次

I 全体的考察

1 学力検査問題作成の基本方針	1
2 成績概評	1
3 今後の留意点	1
4 成績概況（全日制の課程）	2
（平均点・得点相対度数分布表・得点相対度数分布図）	
（参考）学力検査の日程	5

II 各教科ごとの考察

1 国 語	6
2 社 会	8
3 数 学	10
4 理 科	12
5 英 語	14

I 全体的考察

1 学力検査問題作成の基本方針

学力検査問題の作成に当たっては、学習指導要領の趣旨に添って、中学校における平素の地道な学習活動の成果を適切に評価することができるよう配慮するとともに、高等学校教育を受けるに足る能力・適性等を正しく判定する資料を得ることをねらいとした。

そのため、各教科とも、特に次の点に留意した。

- (1) 中学校学習指導要領に示されている各教科の内容の基礎的・基本的事項を精選して出題した。
- (2) 単に知識の量だけを問う検査とならないよう留意し、論理的な思考力や総合的な判断力、表現力等を十分評価することができるよう配慮した。
- (3) 問題形式は、できるだけ記述式を多くすることに努め、選択肢法等を併用する場合にも、適切な設問となるよう配慮した。
- (4) 受検者の負担が過重にならないように、問題の量についても配慮し、考える時間を十分与えるよう努めた。

2 成績概評

各教科の成績については、それぞれの教科のところで記述するので、ここでは全般的なことについて述べる。

各教科の平均点は、いずれも5割程度の数値となっており、どの教科も基礎的・基本的事項の定着が見られるなど、中学校における日頃の学習活動の成果がうかがえた。

受検生は、各教科ともじっくりと考えて問題に取り組んでいる様子がうかがえるが、論理的な思考力や総合的な判断力、表現力が求められる問題では、正答率がやや下がる傾向がある。思考の結果だけでなく、その過程も大切にし、筋道立てて考える態度を養うとともに、自分の考えをまとめ、条件に従って適切に表現する力の育成について、継続した指導に努めていただきたい。

今後とも、各教科の指導において、学習指導要領の目指す学力観に立って、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るとともに、知識・技能を活用する問題解決的な学習を重視し、見通しを持って論理的に思考する力、資料を適切に活用して判断する力、自分の意見を根拠に基づいて適切に表現する力等が一層養われることを期待したい。また、体験的な学習や言語活動の充実を図るとともに、生徒の興味・関心を生かして自主的、自発的な学習を促すことにより、主体的に学習に取り組む態度を養い、「確かな学力」の育成が一層図られるよう、指導の工夫を期待したい。

3 今後の留意点

学力検査の結果から、次のような点に留意した学習指導の充実を期待したい。

- (1) 中学校においては、生徒に学習習慣を十分身に付けさせ、学習指導要領の各教科の目標を踏まえて基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るとともに、言語活動や問題解決的な学習を充実することによって、習得した知識・技能の活用を図り、論理的に思考する力、総合的に判断する力、思考・判断の結果を条件に従って適切に表現する力等を育成する指導が継続して行われることを期待したい。

また、各教科の指導に当たっては、生徒が学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れ、自ら進んで学習する態度を育むための指導を期待したい。

さらに、生徒一人一人の学習状況を適切に評価し、生徒の学習意欲の向上に生かすとともに、生徒の興味・関心に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などを取り入れ、学力の定着、伸長がなお一層図られるよう、指導方法や指導体制の工夫・改善が行われることを期待したい。

- (2) 高等学校においては、この学力検査の結果を的確に分析した上で、生徒一人一人の個性を生かし、その能力を十分に伸ばすことができるよう、個に応じた指導の充実を図るとともに、必要に応じて学校設定教科・科目を開設するなどして、義務教育段階での学習内容を含めた基礎的・基本的な内容の確実な定着に一層努めていただきたい。

また、各教科において、観察・実験をした結果を基にレポートを作成する、文章や資料を読んだ上で、知識や経験に照らして自分の考えをまとめて論述するといった、それぞれの教科の知識・技能の活用を図る学習活動を充実するとともに、教科等を横断した課題解決的な学習活動や探究活動へと発展させるなど、生徒の思考力・判断力・表現力等の育成を図るための指導方法や指導体制の一層の工夫・改善を期待したい。

さらに、指導と評価の一体化を図る取組を進めるとともに、自己の将来を見据えさせることを通して、生徒の学ぶ意欲を喚起し、社会人として必要とされる知識・技能、資質・能力を身に付けさせることができるよう、学習指導の一層の充実を期待したい。

4 成績概況（全日制の課程）

- (1) 全受検者の平均点

教科	国語	社会	数学	理科	英語	5教科計
平均点	25.8	26.6	28.6	26.7	26.3	134.0

(各教科50点満点)

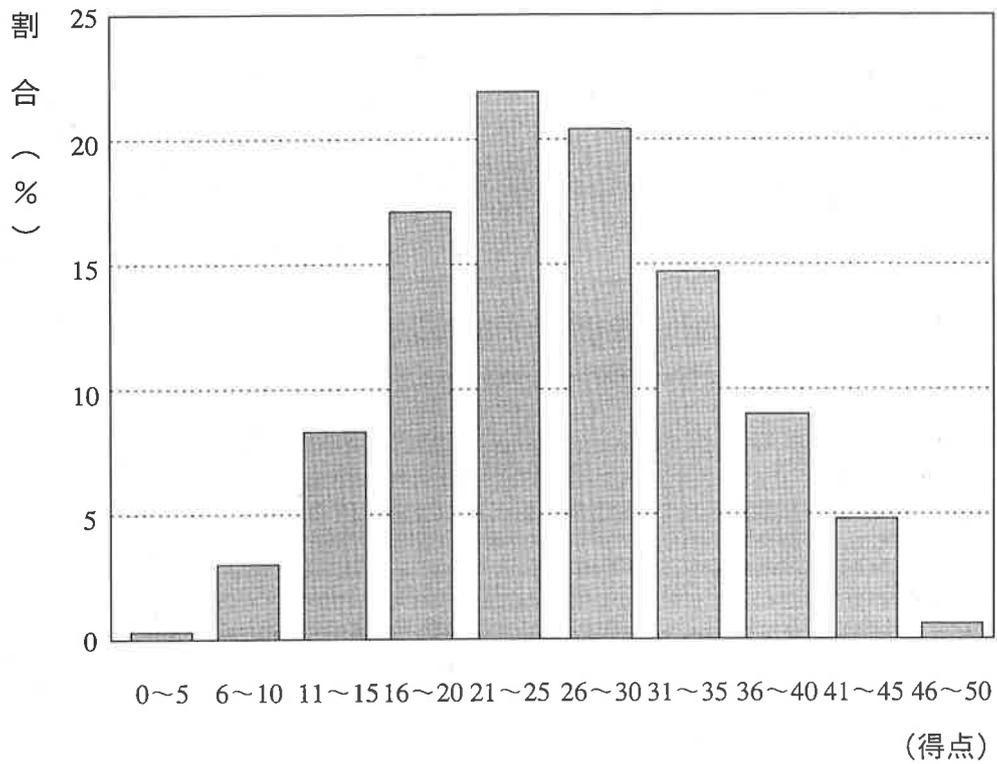
- (2) 各教科別得点相対度数分布表

階級 \ 教科	国語	社会	数学	理科	英語
46～50	0.6	2.3	1.1	2.7	3.9
41～45	4.8	8.3	10.4	8.9	9.0
36～40	9.0	12.1	16.8	11.2	11.1
31～35	14.7	14.2	17.3	14.3	12.9
26～30	20.4	15.9	17.2	15.2	13.7
21～25	21.9	16.2	16.1	16.6	14.4
16～20	17.1	14.5	11.2	14.9	15.1
11～15	8.3	11.4	6.2	11.2	12.8
6～10	3.0	4.6	2.9	4.5	6.3
0～5	0.3	0.6	0.9	0.4	0.8

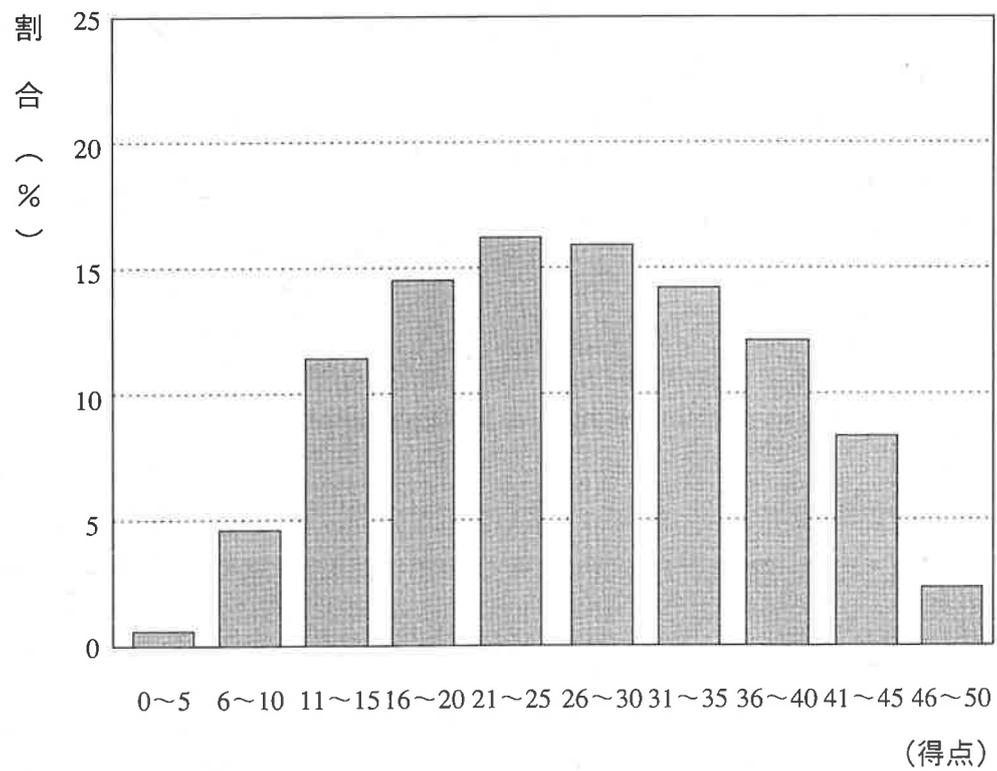
(単位：%)

(3) 各教科別得点相対度数分布図

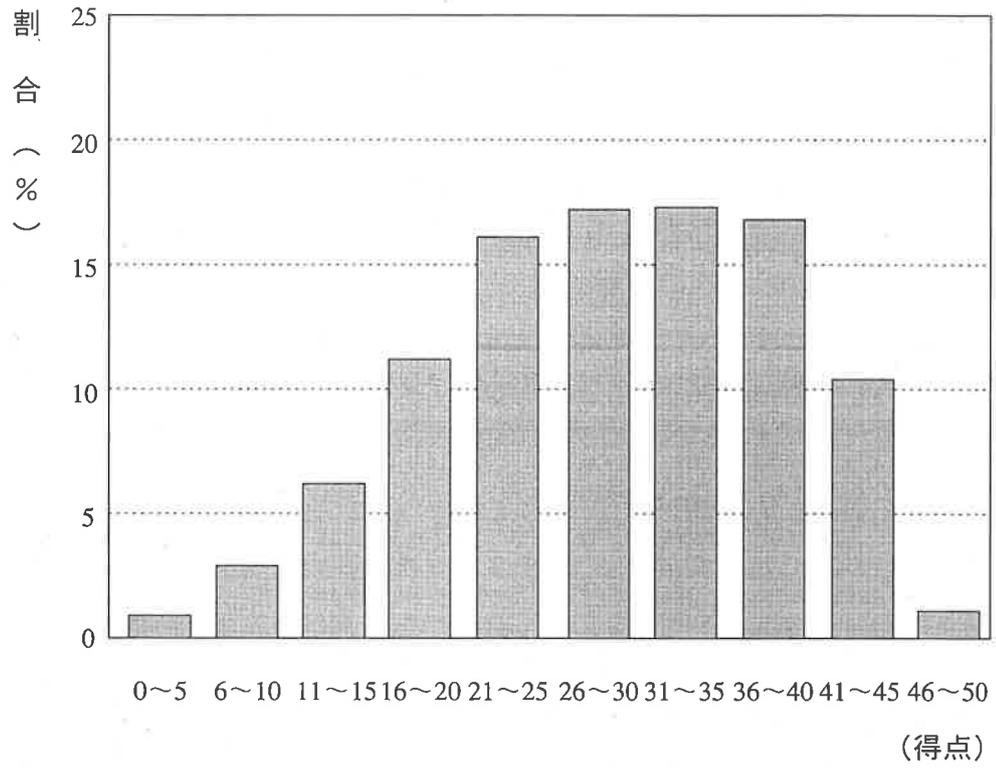
国 語



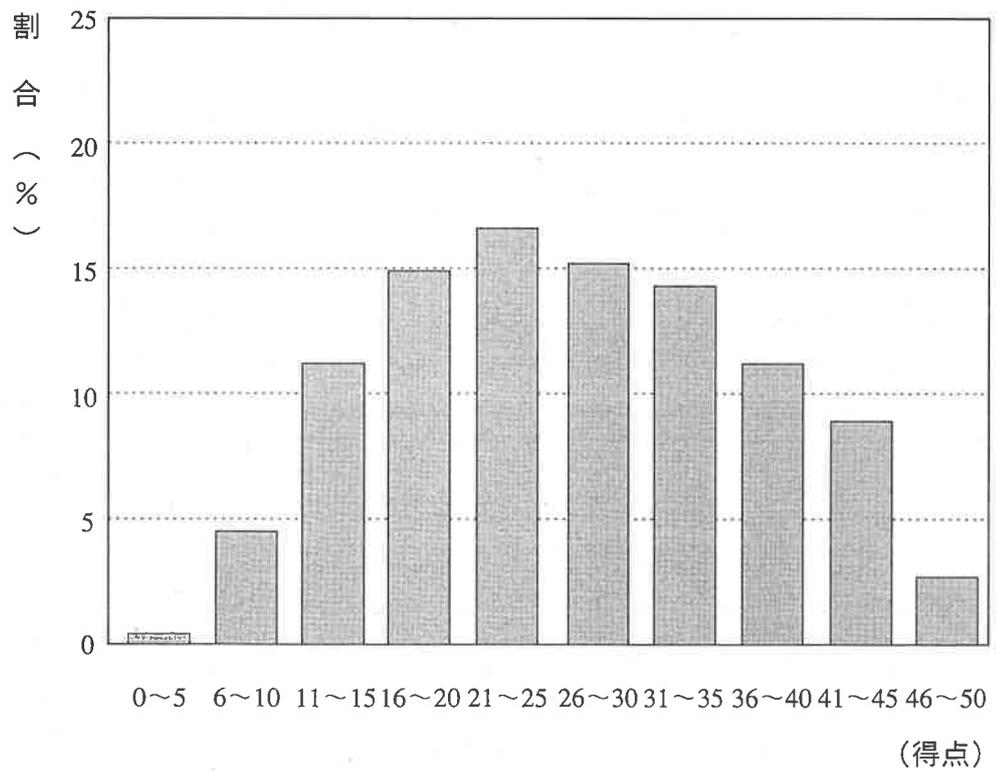
社 会



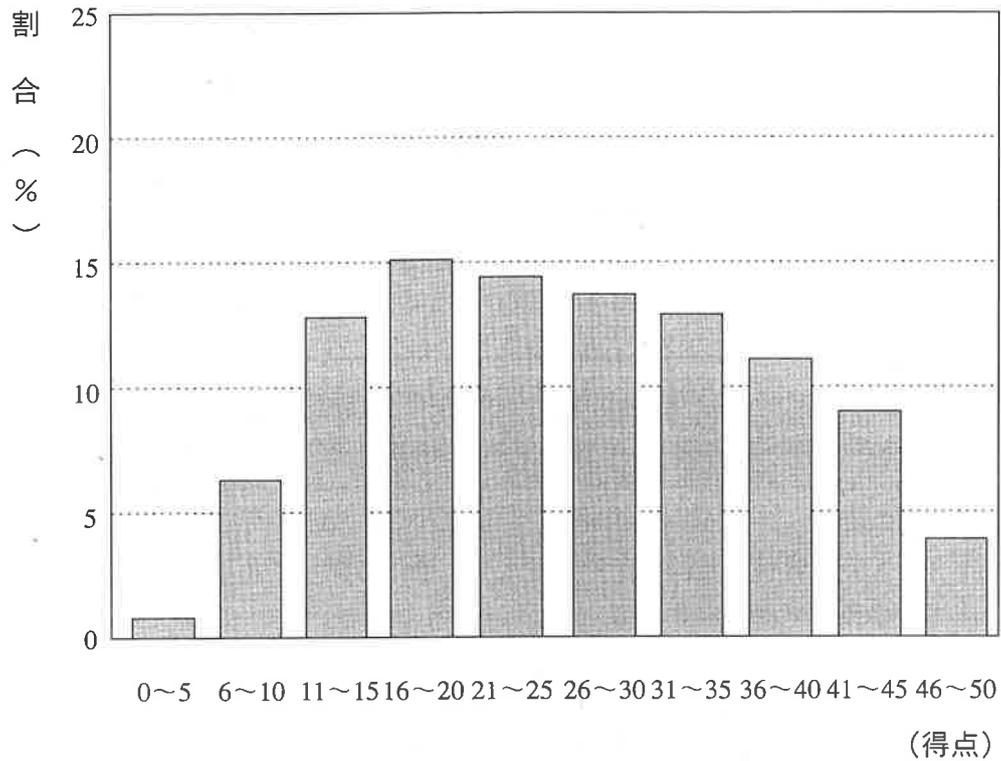
数 学



理 科



英 語



(参考) 学力検査の日程

期 日	時 間	教 科 等
平成 29 年 3 月 8 日 (水)	9:00 ~ 9:30	点呼・受検上の注意
	9:45 ~ 10:30	国 語
	10:45 ~ 11:10	国 語 (作文)
	11:25 ~ 12:15	理 科
	12:15 ~ 13:10	(昼 食)
	13:15 ~ 14:05	社 会
平成 29 年 3 月 9 日 (木)	9:00 ~ 9:30	点呼・受検上の注意
	9:45 ~ 10:35	数 学
	10:50 ~ 11:50	英 語
	11:50 ~ 12:50	(昼 食)
	13:00 ~	面 接

検査時間は、国語70分、英語60分で、社会・数学・理科の3教科はそれぞれ50分である。
 なお、国語には25分の独立した時間を設けて作文を課し、英語には10分程度の聞き取りテストを課した。また、面接は、3月9日(木)学力検査終了後、志願者全員に対して実施した。

Ⅱ 各教科ごとの考察

1 国 語

問題のねらい

中学校における学習を通して身に付けた、国語の基礎的・基本的な力を、総合的に評価することができるように、次の点をねらいとして出題した。

- (一) 論説的文章について、文意の正確な読み取り、主旨の把握、段落構成についての理解などの点から読解力及び論理的な思考力をみるとともに、文法の基礎的事項が理解できているかをみた。
 - (二) 言葉への関心の度合いや基礎的な漢字を読む力をみた。
 - (三) 言葉の重要度や履修学年に配慮し、基礎的な漢字を書く力をみた。
 - (四) 文学的文章について、登場人物の心情などを読み取る力や読み取った内容を適切に表現する力をみるとともに、語句の意味が正しく捉えられているかをみた。
 - (五) 平易な古文について、内容を読み取る力をみるとともに、歴史的仮名遣いの基礎的事項が理解できているかをみた。
- (作文) 提示されている資料を基に、自分の考えを、条件に従って文章にまとめさせることによって、論理的思考力や表現力をみた。

成績概評

基礎的・基本的な事項については、平素の地道な学習活動の成果をうかがうことができた。今後とも、国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにするための指導の充実を期待したい。

- 1 論説的文章の読解については、品詞や主部述部の関係など、やや理解が定着していない面も見受けられたが、段落の持つ役割の理解や主旨の把握など基本的な読解力はおおむね身に付いている。今後とも、文法の基礎的事項に関する知識を身に付けさせるとともに、文意を正確に読み取り、読み取った内容を適切に表現する能力を育成するための指導の充実を期待したい。
- 2 漢字の読み書きについては、おおむねできている。今後とも、語感を磨き、抽象的な概念を表す語句など言葉への関心を深めるとともに、漢字の意味を理解させた上で漢字を正しい字形で書かせる指導の充実を期待したい。
- 3 文学的文章の読解・鑑賞については、登場人物の心情を読み取ることはおおむねできているが、語意の理解など、一部、力が十分には身に付いていない面も見受けられた。今後さらに、表現の仕方について評価したり、書き手の意図を捉えたりするなど、文学的な文章を読み味わう力や、読み取った内容を条件に従って適切に表現する力を身に付けさせる指導の充実を期待したい。
- 4 古文については、内容を読み取ることや歴史的仮名遣いの基礎的事項の理解はおおむねできている。今後とも、古典を理解する基礎を養い、古典に親しむ態度を育成する指導の充実を期待したい。
- 5 作文については、自分の考えが適切に書かれていないもの、資料を見て気づいたことが書かれていないもの、既習の漢字が適切に使用されていないもの、字数制限を満たしていないものなどが多かった。今後とも、自分の考えに説得力を持たせるための根拠となる具体的な体験を加えたり、描写を工夫したりするなどの論理的思考力・表現力を身に付けさせる指導や、与えられた条件に従って適切に表現する力を身に付けさせる指導、適切な表記や段落分け等の作文の基礎的事項の指導の継続を期待したい。

国 語 (調査人数 751人)

問 題		正答率(%)	主 な 誤 答 例	
(一)	1	品詞名	36 動詞、副詞	
		活用形	38 イ、ア	
	2	40	よく草刈りをされ、植物にとっては	
	3	84	イ、エ	
	4	94	イ	
	5	75	暗いところで発芽をする、我先にと芽を出しはじめる	
	6	a	59	葉の中に硬い筋を持っていて、茎は外側が硬く切れにくく、茎の内側は柔らかいスポンジ状の
		b	72	除去する、利用する
	7	a	16	雑草は逆境にこそ生きる道を選んだ
		b	19	逆境に生きる知恵を進化させた
8	62	恐れないことできつと強くなれるはずなのである、すべての生命は何度となく困難な逆境に直面する		
(二)	1	62	だんきゅう、おんきゅう	
	2	73	ほんしょう、ばんしょう	
	3	91	いや	
	4	56	かか、とら	
(三)	1	37	「共明」、字形が正しく書かれていないもの	
	2	46	「現覚」、字形が正しく書かれていないもの	
	3	88	「宮む」、「富む」、字形が正しく書かれていないもの	
	4	70	「奇せる」、「浴せる」	
(四)	1	23	ア、エ	
	2	a	24	抑制のあるすごみ、聴く者を圧倒する
		b	15	ただ何も考えず、与えられた世界をそのまま受け入れている
	3	34	テイク1の、トカゲがこ	
	4	(1)	45	与えられた世界をそのまま受け入れている存在、私は心のどこかで別の真実も感じはじめていた
		(2)	a	26
b	46		悪魔の形相、毎日の生活	
(五)	1	74	すなわちくつがへる、すなはちくつがえる	
	2	54	エ、ア	
	3	a	68	徳用、口惜
		b	21	自分の考えに開きなおることと嘆くことの間にいる、折り曲げないと倒れてしまうような
		c	72	主、夢
		d	32	ゆがめるものとのみ、立ちても危ふきこと
作 文	得 点	比率(%)	<ul style="list-style-type: none"> ・「文化とどのように関わっていきたいか」という自分の考えが書かれていないもの。 ・資料を見て気づいたことが書かれていないもの。 ・内容に応じた適切な段落分けができていないもの。 ・誤字・脱字が多く、既習の漢字が適切に使用されていないもの。 ・字数制限の条件を満たしていないもの。 ・文章の途中までしか書けていないもの。 ・表現や表記が適切でないもの。 ・原稿用紙使用上のきまりが守られていないもの。 	
	10	1		
	9	3		
	8	6		
	7	15		
	6	26		
	5	24		
	4	18		
	3	5		
	2	1		
	1	1		
0	0			

2 社 会

問題のねらい

中学校社会科の各分野から出題し、幅広い社会的事象について、基本的な事項の理解や思考力・判断力・表現力等の能力、資料を適切に活用する技能を総合的に評価できるよう留意した。

- (一) 古代から近世までの我が国の主なできごとや社会の様子について、基本的な事項を正しく理解できているか、また、思考・判断した結果を適切に表現することができるかをみた。
- (二) 近現代における我が国の主なできごとや社会の様子について、基本的な事項を正しく理解できているか、また、世界の動きと関連付けて思考・判断することができるかをみた。
- (三) 人権の尊重、我が国の政治と裁判のしくみ、国際社会の諸課題について、基本的な事項を正しく理解できているか、また、思考・判断した結果を適切に表現することができるかをみた。
- (四) 外国為替と企業の経済活動、我が国の経済の成長、雇用と労働について、基本的な事項を正しく理解できているか、また、資料を活用して思考・判断することができるかをみた。
- (五) 我が国の地域区分や人口、資源・エネルギー問題、自然、産業について、基本的な事項を正しく理解できているか、また、地図や資料を適切に活用して思考・判断することができるかをみた。
- (六) 世界の国々の位置や自然、地域間の結び付き、貿易について、基本的な事項を正しく理解できているか、また、地図や統計資料を適切に活用して思考・判断することができるかをみた。

成績概評

地理・歴史・公民の各分野において、基本的な事項の理解ができており、中学校での学習活動の成果をうかがうことができた。今後とも、基本的な事項の理解を確かなものにするとともに、資料を適切に活用しながら思考・判断する力や、思考・判断した結果を適切に表現する力を育てる継続的な指導を期待したい。

- 1 中世と近世の主なできごとについて、基本的な事項の理解ができています。古代の主なできごとについては、今後、基本的な事項の理解を確かなものにする指導の充実を期待したい。また、思考・判断した結果を適切に表現する力を身に付けさせる指導の充実も期待したい。
- 2 近現代の我が国の主なできごとについて、基本的な事項の理解ができています。近代の政治については、今後、基本的な事項の理解を確かなものにする指導の充実を期待したい。また、我が国の動きと世界の動きを関連付けて思考・判断する力を身に付けさせる指導の充実も期待したい。
- 3 人権の尊重、我が国の政治と裁判のしくみ、国際社会の諸課題について、基本的な事項の理解がよくできています。国民の政治参加と選挙については、今後、基本的な事項の理解を確かなものにする指導の充実を期待したい。
- 4 外国為替と企業の経済活動、雇用と労働について、基本的な事項の理解ができていますとともに、資料を適切に活用して思考・判断する力が身に付いている。我が国の経済の成長については、今後、基本的な事項の理解を確かなものにする指導の充実を期待したい。
- 5 我が国の地域区分や自然、産業について、基本的な事項の理解ができていますとともに、地図や資料を適切に活用して思考・判断する力が身に付いている。人口、資源・エネルギー問題については、今後、基本的な事項の理解を確かなものにする指導の充実を期待したい。
- 6 地域間の結び付き、貿易について、基本的な事項が理解できているとともに、地図や資料を適切に活用して思考・判断する力が身に付いている。世界の国々の位置や自然については、今後、基本的な事項の理解を確かなものにする指導の充実を期待したい。

社 会 (調査人数 751人)

問 題	正答率(%)	主 な 誤 答 例	
(一)	1	53 奈良、天平	
	2	24 イ→エ→ウ→ア、エ→イ→ア→ウ	
	3	55 イ・エ、ア・ウ	
	4	51 徳川家康、足利義満	
	5	29 商人の借金が帳消しになるから	
	6	63 ア、エ	
	7	74 ア、ウ	
(二)	1	21 西郷隆盛、井伊直弼	
	2	72 ポーツマス、長崎	
	3	19 エ→ア、ア→エ	
	4	41 ウ・ベルサイユ条約を結び軍備を拡大したから。	
	5	85 打ちこわし、土一揆	
	6	34 ウ、エ	
	7	68 イ、ア	
(三)	1	60 ア、イ	
	2	(1)	41 衆議院・ア、参議院・イ
		(2)	97 国務
		(3)	75 ア、イ
	3	73 イ、ウ	
4	77 非常任理事国が拒否権を持っている		
(四)	1	53 イ・海外の工場ではなく国内の工場で生産する	
	2	38 便利、サービス	
	3	39 NPO、GHQ	
	4	50 ウ、ア	
	5	60 イ、エ	
(五)	1	(1)	68 い・山梨、う・岡山
		(2)	34 ドーナツ化現象により都心の人口が減少する
		(3)	31 産業、鉱産
		(4)	71 ウ、エ
	2	66 エ、ア	
	3	48 ウ、ア	
(六)	1	53 ウ、イ	
	2	9 い・サウジアラビア、え・カナダ	
	3	31 エ、ア	
	4	76 イ・エ、イ・ウ	
	5	30 アイスランド、マダガスカル	
	6	58 輸入品は一次産品が多く輸出品は製品が多い。	

3 数 学

問題のねらい

中学校の数学の全領域にわたって出題し、基礎的・基本的な内容の理解をみるとともに、数学的な見方や考え方、表現や処理の仕方が身に付いているか、また、それらを活用して、見通しを持ち筋道を立てて問題解決ができるかを適切に評価できるよう配慮した。

- (一) 数と式についての基礎的な知識・技能をみた。
- (二) 因数分解、反比例の式とグラフ、代表値、確率、作図、連立方程式など、数と式、図形、関数、資料の活用について、基礎的な知識・技能が習得できているかをみるとともに、それらを用いて問題を解決することができるかをみた。
- (三) 規則に従って3色のタイルを並べて図形をつくっていくとき、使用するタイルの枚数に着目して、規則性を見つけ、事象を数理的に考察したり、見通しを持って問題を解決したりすることができるかをみた。
- (四) 平行四辺形の性質や図形の面積に関連して、関数についての知識・技能及びそれらを活用して問題を解決する力が身に付いているかをみた。
- (五) 平面図形の論証において、推論の過程を表現する力とともに、図形を直観的にみたり論理的に考察したりする力をみた。

成績概評

計算問題など基礎的・基本的な知識・技能をみる問題の正答率が高い。一方、図形や関数を考察する問題については、正答率の低いものも見られた。全体的な傾向として、中学校における基礎的・基本的事項の定着を図る指導の充実ぶりがうかがえた。

- 1 数と式についての基礎的な計算問題の成績は良好である。無理数の計算についても正答率が高く、日頃の指導の成果が現れている。
- 2 因数分解や資料の活用の基本的事項については、よく理解できているが、作図の問題や連立方程式の問題では、理解がやや不十分な面が見られた。特に、数量の関係を捉えて正しく立式することについて、指導の充実が望まれる。
- 3 規則性を捉え、文字を用いて量を表現し、それを用いて問題を解決することについては、基本的な問題はよくできているが、一部、力が十分には身に付いていない面も見られた。今後とも、日頃の学習において、事象を数理的に考察し、見通しを持って問題の解決を図る態度を育成する指導の工夫が望まれる。
- 4 関数及び平行四辺形の性質や図形の面積に関連した問題については、理解がやや不十分な面が見られた。式やグラフで表した結果を用いて新たな問題を考察するといった学習についても、今後の成果を期待したい。
- 5 平面図形については、証明問題において考察や推論の不明確さが目立った。数学的活動の充実を図り、論理的思考力や直観的判断力を伸ばすとともに、自分の考えを根拠を明らかにして筋道を立てて説明したり、思考の過程を正確に記述したりする力を身に付けさせる指導の充実が望まれる。

数 学 (調査人数 751人)

問 題	正答率(%)	主 な 誤 答 例		
(一)	1	98	-11、-3	
	2	89	$\frac{5}{2}$ 、 $-\frac{5}{4}$ 、5	
	3	93	$7x+5y+2$ 、 $7x+y+2$	
	4	88	$2y$ 、 -2 、 $-8x^2y$	
	5	85	$3\sqrt{3}$ 、 $-\sqrt{3}$	
	6	77	$-3x+22$ 、 $-3x+10$	
(二)	1	81	$x=\pm 5$ 、 $x=5$ 、 $(x-5)^2$	
	2	式	65	$y=\frac{8}{x}$ 、 $y=-2x$
		グラフ	62	グラフが正しくできていないもの
	3	(1)	94	18、9
		(2)	80	90 (分以上) 120 (分未満)、150 (分以上) 180 (分未満)
	4	70	$\frac{3}{8}$ 、 $\frac{1}{4}$	
	5	35	作図が正しくできていないもの	
6	26	連立方程式の立式が正しくできていないもの		
(三)	1	96	黒4 (枚) 白12 (枚) 赤10 (枚)	
	2	67	$n+3$ 、 $3n$	
	3	70	15、33	
	4	14	151、155	
(四)	1	62	(2, 4)、4	
	2	54	$y=2x+2$ 、 $y=-x+2$	
	3	31	2、4	
	4	2	2、3	
(五)	1	21	正しく筋道を立てて証明することができていないもの	
	2	4	5、6	
	3	1	6、9	

4 理 科

問題のねらい

中学校理科の各分野から出題し、自然の事物・現象の観察、実験において、基礎的な技能を身に付け、興味・関心及び目的意識を持って、自然を科学的に探究する能力と態度が養われているかを評価できるように留意した。また、自然の事物・現象について基本的な事項の知識や理解を深め、科学的な見方や考え方をすることができるかを適切に評価できるよう配慮した。

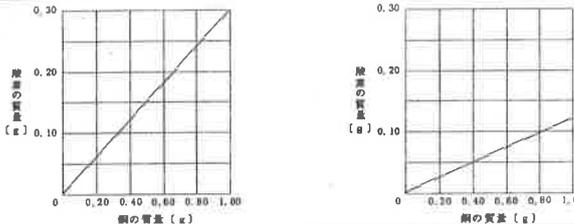
- (一) 凸レンズの働きについての実験を通して、光に関する科学的な見方や考え方が身に付いているかをみるとともに、運動とエネルギーに関する基本的な事項が理解できているかをみた。
- (二) 銅の酸化における量的関係を調べる実験を通して、物質の性質や化学変化について実験結果をグラフ化する力や論理的思考力をみるとともに、身近な現象を通して、密度に関する基本的な事項が理解できているかをみた。
- (三) 植物の蒸散に関する実験結果から、葉のつくりの特徴を科学的に探究する能力が身に付いているかをみるとともに、生殖の仕組みについて基本的な事項が理解できているかをみた。
- (四) 湿度や飽和水蒸気量に関する基本的な事項が理解できているかをみるとともに、岩石の特徴や地層の重なり方について、科学的な見方や考え方をすることができるかをみた。
- (五) 科学的現象や自然の事物・現象について興味・関心及び目的意識を持って実験、観察を行うなど、科学的に探究する能力の基礎と態度が養われているかをみた。

成績概評

各分野の基礎的・基本的事項はおおむね理解できており、日頃から観察、実験を中心にした体験的な学習活動が進められていることがうかがえた。今後とも、日常生活との関連を図りながら、自然を科学的に調べる能力と態度を育てるとともに、課題を解決する学習を通して、科学的な見方や考え方を養う継続的な指導を期待したい。また、観察したことを表現する力や実験結果を分析して解釈する能力を養う指導の充実を期待したい。

- 1 光に関する基本的な事項はおおむね理解できているが、運動とエネルギーにおける位置エネルギーと運動エネルギーとの関係については、理解がやや不十分な面が見られた。今後は、実験を通して、現象についての理解を深め、科学的な考え方を育てる指導の充実を期待したい。
- 2 銅の酸化における量的関係については理解できているが、状態変化と密度の関係については、理解がやや不十分な面が見られた。今後とも、目的意識を持って実験を行うことで論理的思考力を身に付けさせるとともに、科学的な知識と実生活とを関連付けた見方を育てることを重視した指導の充実を期待したい。
- 3 植物の蒸散や生殖の仕組みに関する基本的な事項はよく理解できている。今後とも、科学的な見方や考え方を意識して主体的に実験・観察に取り組みさせる中で、生物に対する興味・関心を高める継続した指導を期待したい。
- 4 湿度や岩石の特徴に関する基本的な事項は理解できているが、飽和水蒸気量に関する事項や地層の重なり方に関する事項は、理解がやや不十分な面が見られた。今後とも、科学的に考察させたり推論させたりする指導の継続を期待したい。
- 5 科学的現象や自然の事物・現象については理解がやや不十分な面が見られた。実験や観察を通して、自然を科学的に調べる能力・態度を育てるとともに、課題解決の過程を通して、科学的な見方や考え方を養う継続的な指導を期待したい。

理科 (調査人数 751人)

問 題		正答率 (%)	主 な 誤 答 例	
(一)	1	(1)	91 反射、入射角	
		(2)	56 イ、エ	
		(3) ①と②	32 ①イ ②ウ、①ア ②ウ	
		(4)	30 ア、イ	
	2	(1)	64 10.5cm/s、0.63cm/s	
		(2)	35 3倍、2倍	
(3) ①と②		23 ①イ ②イ、①ウ ②イ		
(二)	1	(1) ①と②	69 ①ア ②エ、①イ ②ウ	
		(2)	57 $Cu + O_2 \rightarrow CuO_2$ 、 $Cu + O_2 \rightarrow 2CuO$	
		(3)	91 	
		(4)	49 1.30g、12.8g	
		(5)	22 3 : 2、8 : 3	
	2	(1)	77 イ、ウ	
		(2) 密度と理由	27 (密度) 大きくなった。 (理由) 質量は変わらないが、体積が小さくなったから。 (密度) 変わらなかった。 (理由) 質量も体積も変化しないから。	
		(3) ①と②	40 ①ア ②ウ、①イ ②エ	
	(三)	1	(1) ①と②	87 ①気孔 ②ア、①葉緑体 ②イ
			(2)	38 8.3g、7.2g
(3) 水の減少量と理由			73 (水の減少量) 小さくなる。 (理由) 水面から水が蒸発してしまうから。 (水の減少量) 大きくなる。 (理由) 蒸散が活発に起こるから。	
(4)			53 イ、ウ	
2		(1)	84 めしべ、花粉のう	
		(2) ①と②と③	61 ①ア ②イ ③ア、①イ ②ア ③イ	
		(3)	74 イ、ア	
		(4)	個体 Y	90 
			個体 Z	67 
		(四)	1	(1)
(2)	40 56%、61%			
(3)	41 エ、ウ			
(4)	70 イ、ア			
2	(1)		90 エ、イ	
	(2)		93 形、色	
	(3) 薬品名と岩石と反応		48 (薬品名) 石灰水 (岩石と反応) 石灰岩が溶けて白くにごる。 (薬品名) 石灰水 (岩石と反応) 石灰岩から水素が発生する。	
	(4)		46 ア、ウ	
(五)	1	(1)	39 ア、ウ	
		(2)	33 $c \rightarrow a \rightarrow b$ 、 $b \rightarrow c \rightarrow a$	
	2	(1)	72 ウ、エ	
		(2)	34 イ、エ	
	3	(1) 感覚器官と脳	65 (感覚器官) エ (脳) ア、(感覚器官) イ (脳) ア	
		(2)	42 イ、ウ	
	4	(1)	31 ウ、イ	
		(2)	42 エ、ウ	

5 英 語

問題のねらい

中学校で学習した英語の全領域にわたって出題し、基礎的・基本的な事項に重点を置くとともに、言語活動の成果が十分評価できるよう配慮した。

- (一) 日常見聞きする身近な対象を描いている絵などを見ながら、短い対話を聞いて、その内容を正しく聞き取る力をみた。
- (二) 身近な場面で行われている短い対話を聞き、相手の質問の意図を正しく理解する力をみた。
- (三) 比較的長い英文を聞き、話題の中心を捉えて、その内容を正しく聞き取る力をみた。
- (四) 日頃のコミュニケーション活動でよく使われる基本的な表現について、その内容を理解し、自然な対話となるように英文を正しく完成したり、自分の考えなどを適切な英文で書いたりすることを通して、基本的な語彙力や表現力をみた。
- (五) 比較的長い対話文を読んで、対話の流れに合うように適切な英文を当てはめたり、文脈に応じた適切な英文を書いたりすることなどを通して、理解力や表現力をみた。
- (六) 長い英文を読んで、その概要や要点を把握したり、文と文との関係を理解したりする力など、英語に関する総合的な力をみた。

成績概評

基礎的・基本的な事項はおおむね理解できており、日常の言語活動を大切にする指導の成果がうかがえた。今後とも、英語表現に関する基礎的な能力や英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成に努めるとともに、4領域の言語活動を総合的に行い、調和のとれた能力を育成する指導を期待したい。

- 1 絵を見ながら短い対話を聞き取る問題や身近な場面で行われている短い対話を聞き取る問題は、全体的によくできており、平素の望ましい言語活動の成果がうかがえた。
- 2 比較的長い英文を聞き取る問題はおおむねできていたが、少し複雑な英文については、内容の理解が不十分な面が見られた。今後とも、聞くことを大切にする指導を行い、まとまりのある文章の概要や要点を聞き取る力を育成することが一層望まれる。
- 3 日常的なコミュニケーションの場面でよく使われる基本的な表現について、英文を完成させる問題はおおむねできていたが、自分の考えなどを適切な英文で書く力は十分には身に付いていない面が見られた。今後とも、文章で的確に表現する力の育成について、指導の充実を期待したい。
- 4 比較的長い対話文の問題では、内容の理解は比較的よく理解できていたが、文脈に応じて英文を書く問題では、基本的な語法上の誤りが多かった。今後とも、英文を読んで書かれた内容や考え方などを捉える力を育成するとともに、英文を適切に書く力を育成する指導の継続を期待したい。
- 5 長文の問題では、内容の理解はおおむね理解できており、読解力を高める指導の成果がうかがえた。今後とも、まとまりのある文章を読んで、その概要や要点を捉えたり、文と文との関係に留意しながら論理的推論によって内容を正しく理解したりする力など、総合的な読解力の育成を一層期待したい。

英 語 (調査人数 751人)

問 題		正答率(%)	主 な 誤 答 例	
(一)	1	77	エ	
	2	84	イ	
	3	86	ア	
(二)	1	82	ウ	
	2	76	エ	
(三)	1	42	ア	
	2	65	エ	
	3	49	イ	
	4	61	ウ	
(四)	1	(1)	イウアエ、ウイエア	
		(2)	イアウエ、イアエウ	
	2	(1)	What do you like Japanese food? など	
		(2)	語数不足、綴りの誤り など	
(五)	1	①	イ	
		②	イ	
		③	イ	
	2	(ア)	She written book is read by many countries. など	
		(イ)	My dream is doctor to him. など	
	3	50	エ	
	4	(1)	56	イ
		(2)	64	ア
(3)		62	ア	
(六)	1	(A)	68	イ
		(D)	51	イ、エ
	2	(B)	14	looking、watched など
		(E)	59	brought、watched など
	3	50	many people、some people など	
	4	15	いくつかの時の流れ、浦島太郎の話をしてますか など	
	5	47	ア	
6	46	エ		
7	16	イ、カ、キ		